

令和5年 飯田市教育委員会5月定例会会議録

令和5年5月19日（金） 午後3時00分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
学校教育課長	福澤 好晃
学校教育専門幹	今井 栄浩
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長兼考古博物館長	宮下 利彦
市公民館副館長	上沼 昭彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長補佐兼上郷図書館長	矢澤 恵
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人
生涯学習・スポーツ課教育支援指導主事	片桐 和子

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） 時間になりました。日程の第1、開会でございます。

ただ今から、令和5年5月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。5月定例会の会期を本日1日とします。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録の署名委員の指名。会議録署名委員を三浦弥生教育委員にお願いします。

◇教育委員（三浦弥生） はい。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。4月定例会の会議録をご確認ください。

何かご意見がありましたらお願いします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第5、教育長報告事項。

別紙をご覧ください。

連休を挟んでオケ友には、皆さんにご参加いただいたりしましてありがとうございます。その前にやまびこマーチがありました。そのことについては、後で報告が生涯学習・スポーツ課からありますので飛ばしますが、大変、好天に恵まれて多くの参加者の皆さんに喜んでいただいたなあと思います。

私も次長と二人で10キロコースを歩きましたが、二人で歩いたほうがやっぱり楽しいなと感じました。たまたま兵庫県の女性のお二人の方とも話をさせていただいたりして、そ

ういう道々のコースでの出会いの楽しみもありました。情けないことに私の足の裏に豆ができて、翌日はもう10キロ歩けませんでした。

いずれにしても大会の運営を支えていただいたスタッフの皆さんがたくさんいらっしゃって、それのおかげだなというふうに思っております。

それから5月13日に飛びますけれども、信州飯田ふるさと会連合会の総会というのがございました。4年ぶりに開催ということで、2年に一度行われている会で、飯田出身の方で東京で活躍されている方たちが集まり、そこに佐藤市長、私、そして飯田市議会議員の皆様、あるいは飯田市のまちづくりの会長さんたちが集まって総会をやりました。また「ましゅ&Kei」の皆さんのアトラクションが披露されました。

200余名いらっしゃるんですけど、大分やはりご高齢の方が多くなっていて、会長さんは93歳でしたかね。今度、代わられるということでしたが、いずれにしても東京へ一人で出て、それぞれ花を咲かせて活躍された方たちが多いんだなということを感じました。

3つ目ですけれども、つい先日ですが、市町村教育委員会の主催で下伊那地区の初任者研修が行われました。飯田下伊那全体で45名の初任者の皆さんで、新卒の方から50歳の方まで本当に幅の広い年齢層ではありますが、それぞれ4月の子どもとの出会いのエピソードを紹介していただいたり、子どもの良さを話してくれたりということで、非常にいい話をお聞きしました。

それでも困っている初任者の方もいました。やっぱり困ったときに周りに助けを求められるということがとても大事かなというふうに思います。若い方の中には、なかなか一人で困っているパターンもあるので、支援体制ができるといいなと思いながら参加してまいりました。

裏面になりますけれども、5月9日10日に行われた市議会第1回臨時会で新たに決定した社会文教委員会の委員長さん、副委員長さん、委員の皆さんで、17日に管内視察をしていただきました。鼎小学校の授業、それから下久堅保育園の屋根の改修工事、小学校の体育館の床の改修工事、そして橋南児童クラブ等を視察したわけですが、特に市議会議員の皆様方は、鼎小学校のICT端末を使った授業を見て「昔と全然違うなあ」と驚いておられました。

私からの報告事項は、以上でございます。何かご質問等ありましたら。

(「特にありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) はい、ありがとうございます。

日程第6 議案審議（16件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、日程第6、議案審議。

本日は、16件の議案についてのご審議をいただきます。

議案第27号 飯田市就学相談委員会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） それでは最初に、議案第27号、飯田市就学相談委員会委員の任命について。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第27号、飯田市就学相談委員会委員の任命についてでございます。

4ページ・5ページをご覧くださいと思います。

飯田市就学相談委員会は、飯田市就学相談委員会条例に基づく飯田市教育委員会の附属機関でございます。飯田市教育委員会の諮問に応じて教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒の就学に関する調査、審査、その他就学相談に関する事項などを行うものがございます。

詳細は6ページ目から7ページ目に補足説明資料が付してございますが、具体的には来入児、就学児童の就学判断や前年度就学判断を行った児童生徒の調査などを行っております。

委嘱する委員の人数は、条例で20人以内と定められておりまして、学識経験者、教育職員、医師、児童福祉関係者などの職員から教育委員会が任命することとなっております。

お戻りいただきまして、4ページ目から5ページ目でございますが、委員の氏名・所属・職名につきましてはご覧のとおりでございます。

任期につきましては、同条例で2年と定められておりまして、令和7年3月31日までとして任命したいものでございます。

以上、よろしくお願いたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第27号についてご審議をいただきます。ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは承認をいただきました。

議案第 28 号 飯田市結核対策委員会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 28 号、飯田市結核対策委員会委員の任命について。
福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第 28 号、飯田市結核対策委員会委員の任命についてでございます。

8 ページ・9 ページをご覧ください。

飯田市結核対策委員会条例第 4 条第 2 項の規定により、下記の者を飯田市結核対策委員に任命したいというものでございます。

委員の氏名・住所・役職・備考の選出区分につきましては、ご覧のとおりでございます。

小中学校における結核対策の方針を定めるに当たり、専門的な意見を徴するため同条例第 4 条の規定により関係機関から 6 人の委員を選出し任命したいとするものでございます。

任期は、同条例第 5 条の規定により令和 6 年 3 月 31 日までとしております。

なお、補足説明資料は、9 ページに詳しくございますのでご確認をお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 28 号についてご審議をいただきます。
ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、承認いただいたということによろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

議案第 29 号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 29 号、「学校運営協議会委員の任命について」。
福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第 29 号、学校運営協議会委員の任命についてでございます。

10 ページをご覧くださいと思います。

学校運営協議会委員の任命につきましては、前回の教育委員会定例会で任命いただいておりますが、追手町小学校からコミュニティスクールの立ち上げにあたり、学校長より追加で 4 名の推薦があり、また山本小学校、竜東中学校よりそれぞれ 1 名の委員の変更が生じたため学校長より申し出がございましたので、学校運営協議会規則第 7 条第 1 校の規定

により任命したくご提案を申し上げます。

任期は、いずれも同規則第9条第2項の規定により令和6年3月31日までとなります。

以上、よろしくお願いいいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま議案第29号についてご説明いただきました。ご審議をいただきます。

何かご質問、ご意見がありましたらお願いいいたします。

（「ございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） 承認をいただきました。

議案第30号 飯田市小中連携・一貫教育推進委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして第30号、飯田市小中連携・一貫教育推進委員の委嘱について。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第30号、飯田市小中連携・一貫教育推進委員の委嘱についてでございます。

11ページから12ページをご覧ください。

飯田市小中連携・一貫教育推進委員会要綱第3条第2項の規定により下記の者を飯田市小中連携・一貫教育推進委員に委嘱したいというものでございます。

区分ごと・氏名・所属等につきましては、ご覧のとおりでございます。

今年度、飯田市小中連携・一貫教育推進委員会設置に当たり同要綱第3条第2項の規定により委員を委嘱したくご提案をするものでございます。

任期につきましては、1年間になります。

以上、よろしくお願いいいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第30号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは承認をいただきました。

議案第31号 飯田市これからの学校のあり方審議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第31号、飯田市これからの学校のあり方審議会委員

の任命について。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 議案第 31 号、飯田市これからの学校のあり方審議会委員の任命についてお願いいたします。

13 ページをご覧ください。

飯田市これからの学校のあり方審議会条例第 4 条の規定により下記の者に飯田市これからの学校のあり方審議会委員を任命したいというものでございます。

氏名・区分・所属等は、ご覧のとおりでございます。

飯田市の学校を取り巻く教育環境の変化への対応に必要な方策を調査審議するため、同条例第 4 条の規定により 15 名の委員を任命したくご提案するものでございます。

任期は、同条例第 5 条第 1 項の規定により令和 7 年 3 月 31 日までといたします。

以上、よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま議案第 31 号について説明がありました。ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは承認いただきました。

議案第 32 号 社会教育委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 32 号、社会教育委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） それでは資料 15 ページをお願いいたします。

議案第 32 号、社会教育委員の委嘱についてお願いいたします。

社会教育委員の任期の満了に伴い、飯田市社会教育委員条例の規定によりまして 12 名の方を委員に委嘱したいとするものでございます。

委嘱する委員の氏名・住所・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

社会教育委員につきましては、社会教育に関する諸計画を立案することや、会議を開き教育委員会の諮問に応じ意見を述べる、そういった業務が社会教育法で定められております。

飯田市では、条例の規定に基づき学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資す

る活動を行う方や学識経験のある方の中から委員を選出させていただいております。

任期は、令和7年3月31日までの2年間でございます。

おめくりいただいた16ページには、上段に社会教育法、下段に飯田市の条例の抜粋でございますけれども、役割や選出区分等を記載してありますので、またご覧いただければと思います。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第32号についてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それではご承認をいただきました。

議案第33号 飯田市キャリア教育推進協議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 議案第33号、飯田市キャリア教育推進協議会委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料17・18ページになります。

議案第33号、飯田市キャリア教育推進協議会委員の委嘱についてお願いいたします。

キャリア教育推進協議会委員の任期満了に伴い、設置要綱の規定によりまして18名の方を委員に委嘱したく提案するものでございます。

委嘱する委員の氏名・住所・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

キャリア教育の推進協議会は、昨年度から幼児期から高等教育期までということで、切れ目のない系統的なキャリア教育を産学官が連携協働しながら図っていくということで、キャリア教育に関する基本的な方針を定めることや、取組の評価及び検証を行う、そういった役割を担っていただいております。昨年度までは高校までということでございましたけれども、今年度、高等教育機関まで拡大をしていくということで、資料をおめくりいただいた18ページ名簿の下から2番目でございますけれども、高等教育機関を代表して飯田短大からも新たに委員をお願いをしております。

任期は、令和6年3月31日までの1年間でございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第33号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「特にありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご承認をいただきました。

議案第34号 青少年育成推進委員の委嘱について

○教育長(熊谷邦千加) 続きまして議案第34号、青少年育成推進委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長(伊藤 弘) 資料の20ページ・21ページをお願いいたします。

議案第34号、飯田市青少年育成推進委員の委嘱についてお願いをいたします。

飯田市では、青少年育成センターを設置しておりますけれども、その設置要綱の規定によりまして9名の方を委員に委嘱したく提案するものでございます。

委嘱する委員の氏名・住所・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

飯田市では、青少年の非行防止や健全育成のための環境整備を行うことを目的に育成センターを設置しておりますが、育成推進委員は、街頭啓発活動や青少年の育成に関して関係機関との連携調整、そういったことも業務としてお願いをしております。

委員の任期につきましては、令和7年3月31日までの2年間となります。

よろしくをお願いいたします。

なお、21ページにつきましては、飯田市青少年育成センターの設置要綱の抜粋でございますが補足資料として用意させていただいております。

よろしくをお願いいたします。

○教育長(熊谷邦千加) ただいま説明のありました議案第34号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) はい、ご承認をいただきました。

議案第35号 わが家の結いタイム推進協議会委員の委嘱について

○教育長(熊谷邦千加) 続きまして、議案第35号、わが家の結いタイム推進協議会委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） おめくりいただいて資料 22・23 ページをお願いいたします。

議案第 35 号、わが家の結いタイム推進協議会委員の委嘱についてお願いいたします。

飯田市のわが家の結いタイム推進協議会の設置要綱の規定によりまして、8 名の方を委員に委嘱したく提案するものでございます。

委嘱する委員の氏名・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

飯田市では、家族の触れ合いの時間を「わが家の結いタイム」としまして、家庭教育の推進を図るために家庭、学校、地域が連携して家庭教育の啓発活動に取り組んできております。

委員の皆さんには、わが家の結いタイムの推進に関する基本的な方針策定や取組の計画策定、評価等について協議をしていただく役割を担っていただいております。

任期につきましては、令和 6 年 3 月 31 日までの 1 年間でございます。

23 ページには、推進協議会の設置要綱、補足資料としてお示しをさせていただきます。

よろしくをお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 35 号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

（「特にありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、承認をいただきました。ありがとうございました。

議案第 36 号 飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 36 号、飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料 24・25 ページをお願いいたします。

議案第 36 号、飯田市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてお願いいたします。

スポーツ推進審議会委員の任期満了に伴い、飯田市の条例の規定によりまして 12 名の方を委嘱したく提案するものでございます。

委員の氏名・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

スポーツ推進審議会につきましては、スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進計画、そ

の他スポーツ振興に関する重要事項について調査・審議するために条例で定めて設置をしております。

委員につきましては、スポーツ関係団体、学校体育関係者、知識経験者から選出ということをお願いをしております。

任期につきましては、令和7年3月31日までの2年間でございます。

25ページには、条例の内容を抜粋で補足としてお示しをさせていただいております。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第36号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご承認いただき、ありがとうございました。

議案第37号 学校体育施設開放運営委員会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第37号、学校体育施設開放運営委員会委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料26・27ページをお願いいたします。

議案第37号、学校体育施設開放運営委員会委員の委嘱についてお願いいたします。

飯田市では、学校の体育施設を社会体育・社会教育の分野に開放するという事で取り組んでおりますけれども、そういった学校開放に関する事項を協議していただきます委員の皆さんの任期満了に伴い、規則の規定に基づいて伊賀良小学校8名、旭ヶ丘中学校、松尾小学校及び緑ヶ丘中学校、それぞれ7名の方を委員に委嘱したく提案するものでございます。

委嘱する委員の氏名・選出区分等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

この委員会の皆さんには、学校開放の計画でありますとか、体育施設の管理に関する事項について協議していただくほか、利用調整などの業務を担っていただいております。

任期につきましては、伊賀良小学校及び旭ヶ丘中学校の委員は令和7年3月31日までの2年間、松尾小学校及び緑ヶ丘中学校の委員は令和6年3月31日までの1年間でございます。

おめくりいただいた28ページには、規則の掲載をしております。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 37 号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご承認をいただきまして、ありがとうございます。

議案第 38 号 飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 38 号、飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料 29 ページ・30 ページになります。

議案第 38 号、飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員の委嘱について
お願いいたします。

中学校部活動の地域移行に向けまして、新たに飯田市の文化芸術・スポーツ活動連携協議会の設置要綱を制定いたしました。3 月には教育委員会の中でご説明をさせていただいたものでございます。

この要綱の規定に基づきまして、25 名の方を委員に委嘱したいとするものでございます。

委員の皆さんの内訳につきましては、スポーツ関係が 12 名、おめくりいただいた 30 ページのほうですが文化芸術関係 13 名ということで、それぞれの委員の氏名・選出区分等については議案書に記載のとおりでございます。

任期につきましては、令和 7 年 3 月 31 日までの 2 年間でございます。

この協議会には、本部会のほかスポーツ部会、文化部会を置くこととしております。本部会は、今後の部活動が地域に移ったときの目指す姿であるとか、理念、そういったものを協議していただき、共有を図ってまいります。また、部会の方では、文化芸術・スポーツ、それぞれ異なる課題がありますので、それぞれ関係の皆さんとの協議を進め、生徒の多様なニーズに対応できる地域の活動の場づくりについて検討を進めてまいります。

なお、第 1 回の会議につきましては 5 月中ということで、5 月 24 日に第 1 回会議を開催する予定でございます。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 38 号について、ご審議をいただきま

す。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ございません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ありがとうございます。ご承認いただきました。

議案第39号 飯田市図書館協議会委員の任命について

○教育長(熊谷邦千加) それでは続きまして、議案第39号、飯田市図書館協議会委員の任命について。

矢澤図書館長補佐、よろしく申し上げます。

◎中央図書館長補佐(矢澤 恵) お願いいたします。

31・32ページをご覧ください。

議案第39号、飯田市図書館協議会委員の任命についてお願いいたします。

本議案は、任期満了に伴いまして、飯田市図書館条例第12条の規定により記載の10名の方の任命を求めるものでございます。

10名の氏名・住所・区分につきましては、表をご覧ください。

32ページをお願いいたします。

こちらの補足資料といたしまして載せてございます。図書館協議会の役割につきましては、図書館法におきまして「図書館の運営に対し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。」と定められております。図書館協議会委員には10名の方を任命いたしまして、図書館の運営やサービスに対してご意見をいただいております。

31ページに戻っていただきまして、この10名の方をお願いしたいと思っております。

任期につきましては、図書館条例第12条第3項によりまして2年間、令和7年3月31日まででございます。

よろしく申し上げます。

○教育長(熊谷邦千加) ただいま説明のありました議案第39号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ございません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ご承認をいただきました。ありがとうございます。

議案第 40 号 飯田市美術博物館協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 40 号、飯田市美術博物館協議会委員の任命について。

牧内美術博物館副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは 33 ページをお願いいたします。

議案第 40 号は、飯田市美術博物館協議会委員の任命でございます。

飯田市美術博物館協議会は、博物館法の第 23 条にあります「公立博物館に博物館協議会を置くことができる」との規定に基づき設置しております。

同法では、博物館協議会は博物館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関と規定されておりますので、美術博物館全体の運営に関して、利用する市民の立場での意見や提言を求める委員会と位置づけております。

本案は、飯田市美術博物館条例第 14 条の規定に基づきまして、学校教育分野の教頭会、社会教育分野の公民館長会から推薦いただいた委員 2 名が令和 4 年度末で辞任されましたので、改めて両組織に推薦を依頼し新年度になりそれぞれ推薦いただいた 2 名の方の任命を提案するものです。

氏名・分野・所属等は記載のとおりで、任期は承認いただいてから前任者の残任期間である令和 6 年 3 月 31 日まででございます。

よろしくをお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第 40 号について、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、お認めいただきまして、ありがとうございました。

議案第 41 号 飯田市美術博物館評議員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 41 号、飯田市美術博物館評議員の任命について。

牧内美術博物館副館長、お願いします。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 34 ページをお願いいたします。

議案第 41 号は、飯田市美術博物館評議員の任命についてでございます。

飯田市美術博物館条例施行規則第 5 条の 2 により令和 5 年度から 2 年間の美術博物館美術分野の評議員 10 名の任命につきましては、3 月の定例会においてご承認いただいております。

ますが、今回は新年度になりまして下伊那教育会図工美術委員会及び同じく下伊那教育会
菱田春草研究委員会から推薦いただきました2名の方の任命につきまして、追加提案をす
るものでございます。

氏名・学校所属等は記載のとおりで、任期は承認いただいてから令和7年3月31日まで
でございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第41号について、ご審議をいただきま
す。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、お認めいただきまして、ありがとうございます。

議案第42号 飯田市歴史研究所協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第42号、飯田市歴史研究所協議会委員の任命につい
て。

歴史研究所牧内副所長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは35ページをお願いいたします。

議案第42号は、飯田市歴史研究所協議会委員の任命でございます。

飯田市歴史研究所協議会ですが、歴史研究所には上位法がございませんが、飯田市歴史
研究所条例第6条において、「歴史研究所の円滑な運営及び市民と連携した事業の推進を図
るため、飯田市歴史研究所協議会を置く」とあり、同条第2項に「協議会は、教育委員会
の諮問に応じ前項の規定する目的を達成するため必要な事項について審議し、または意見
を述べるものとする」とされており、歴史研究所全体の運営に関して、利用する市民の立
場での意見や提言を求める委員会と位置づけております。

本案は、この条例第7条第2項の規定に基づきまして、社会教育分野の公民館長会から
推薦いただいた委員1名が令和4年度末で辞任されましたので、改めて公民館長会に依頼
し推薦いただきました方の任命を提案するものです。

氏名・住所・所属等は記載のとおりで、任期は承認いただいてから前任者の残任期間で
ある令和6年3月31日まででございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第42号について、ご審議をいただきま

す。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ありません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) はい、お認めいただきました。ありがとうございました。

学校のあり方の審議委員、それから飯田市の中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会、これが始まりますので、その新しい委員さんたちも含めてお認めいただきました。ありがとうございました。

日程第7 協議事項

○教育長(熊谷邦千加) それでは、日程の第7、協議事項。

本日は、1件についてご協議をいただきます。

(1) 令和5年度キャリア教育の推進について

○教育長(熊谷邦千加) 令和5年度キャリア教育の推進について。

生涯学習・スポーツ課、片桐教育支援指導主事、お願いします。

◎教育支援指導主事(片桐和子) よろしくお願ひいたします。

生涯学習・スポーツ課社会教育係でキャリア教育を担当しています片桐と申します。よろしくお願ひします。

令和5年度のキャリア教育の推進について説明をさせていただきます。

36 ページからになります。昨年度より新たな体制でキャリア教育に取り組み、昨年度実施したキャリア教育推進協議会や総合教育会議の中でたくさんのご示唆をいただいたこと、また、2月のキャリア教育推進フォーラムでの発表などを活かして、本年度の推進について資料を作成しましたので説明させていただきます。

初めに、名称についてです。総合教育会議の中でも「飯田型キャリア教育と聞くと、職場体験や職業に就くための教育というイメージがあるので、もっと飯田の教育の強みを生かした分かりやすい名称はないか」というようなご意見をいただき考えてまいりました。

「飯田型キャリア教育」に代わる名称というのではなくて、頭にキャッチフレーズ的に「地育力で私と地域の未来をひらく」とつけてあります。

「私」という言葉の中には、子どもや若者が地域の人や資源に関わりながら、主体的に自分の人生を自分らしく切り開いて欲しいという願いと、本来の願ひからは少し外れますが、子どもや若者に関わる大人も地域も輝いていきたいという願ひがあります。

この上部のグレーの部分がねらいになっています。教育ビジョンを目指し、昨年同様にアンダーラインにありますように、飯田型キャリア教育では、地育力を活用した体験的な学びにより、幼児期から高等教育期まで発達段階に応じて切れ目なく推進し、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていく力を育み、ふるさとを心根に、未来の地域の担い手や地域を支える人づくりを目指していきたいと思います。

右は飯田型キャリア教育で育みたい力になっています。令和2年度までは5つの力として位置づけていましたが、文科省で示されている基礎的・汎用的能力の4つにあわせて。令和2年度より4つという形になっています。「ふるさとのよさに気づき、自ら関わろうとする」という力については外に取り出し、それは4つの力を支えるものであり、また目指す姿として位置づけてあります。

中央の図ですが、これは昨年と同様に幼児期から高等教育期までのつながりで考えていくことが人材育成にもつながると考え、縦軸が発達段階、横軸が地域や社会との関わりを表しており、右上がりのキャリア形成上に発達段階に応じた実践を表しています。

この周りの実践は、昨年度2月に行われたフォーラムの実践に変えてあります。事例①の殿岡保育園の自然保育での遊びや好奇心を大事にした体験活動から、事例②、丸山小学校のふるさと学習として伝統芸能獅子舞や身近な人の仕事調べ、事例③、竜峡中学校で全校で取り組むふるさと学習や地域に参画する農業・職場・福祉体験活動、事例④、飯田OIDE長姫高等学校の飯田市の課題でもある移住促進に関するスマートグラスを用いた研究、事例⑤、飯田女子短期大学の「ひさかた和紙」とのコラボレーションによる地域貢献活動で、どれも地育力を活用した学びや育ちとしてまとめてあります。

追加したところは、中央図の右下にあります小さい四角いところなのですが、家庭や地域社会におけるキャリア教育との連携の図を載せたところです。

キャリア教育は学校教育だけで行われるものではなく、家庭や地域との連携が大事になってきます。発達段階に応じて、家庭中心からだんだんと地域社会との関わりが大きくなっていきます。「わが家の結いタイム」の実践や地域公民館での諸行事への参加・参画、また鼎地区で実践発表がありましたボランティアへの参加等もキャリア発達に関わっていくと考えて、学校・地域・家庭との連携、また各課との連携を大事にしていきたいと思えます。たまたま今日は、第3日曜日の前の金曜日ということで、「わが家の結いタイム」のテーマソングを今日から本庁の昼休みに流すことを始めました。

それでは37ページになります。ここからは具体的な推進についてまとめてあります。1と2については、先ほどの全体図のグレーの部分をもう少し詳しく説明してある部分です。

38 ページでは、推進の方針について書いてあります。3の(1)は社会全体で実体験を伴う場をつくること。(2)では幼児期から高等教育期まで一貫した理念として、先ほど事例で説明させていただいたように、ふるさと学習では地域を散策・体験から段々と地域のために行動、貢献するような体系的な学びについて、それぞれが目的を共有し協働して支えるようにしたいと思います。

4の各学校における方策の留意点については、よりよい体験になるように(1)のふるさと学習の学びについてのあり方、(2)では特別活動も含めて様々な活動を「自己理解」、「他者理解」、「役割理解」という3つの視点と「自己決定」を大事に展開していくことで、より目指す資質能力が育まれていくと考えます。

5にある地域・社会教育におけるキャリア教育でも同様な視点で子どもたちと接していくことを大事にしていきたいと思います。

ラインボックスの中は、平成23年に策定されたキャリア教育ガイドラインで、令和2年3月に改訂された部分になります。学校での周知を図るためにも記載しました。この改訂にはキャリア・パスポートの扱いも大きく載っておりました。そこで留意点の(3)の部分にもキャリア・パスポートについて記載し、飯田市独自の地域の活動の伴走者との関わりの記述についても大事にし、未来の自分を想像していくものにしたいと思っています。

39 ページからは会議開催の計画です。全てについて説明はいたしません、赤字になっているところは新たな取組です。幼児期から高等教育期まで一貫した理念で子どもや若者を育てるために(1)の飯田市キャリア教育推進協議会と(2)の飯田市キャリア教育研究委員会に飯田短期大学と飯田コアカレッジに参加していただき、1年交代に委嘱して一緒に取り組んでいきたいと思っています。

40 ページです。(3)の高校生への取組といった点について、昨年度は力を入れてきたところですので、さらに継続し総合的な探究の時間への支援や社会教育機関からのアプローチをしていきます。(4)の学校と企業が連携した取組の②高校と地域をつなぐ取組については、特に進学校において地元企業を知らずに大学へ進学していく生徒が多い現状ですので、産業振興課とも連携して取り組んでいきたいと思っています。

41 ページは、推進体制になります。これは高等教育期間まで発達段階により整理し直しました。学校の欄の下には、体系的な学びを丸で示し、その下には特別活動や家庭・社会教育でも大事にしたい学びも加えてあります。下のほうの黄色には新たに家庭におけるキャリア教育、地域社会におけるキャリア教育を載せ、一番下には昨日実施した庁内調整会議を据えてあります。

以上になります。よろしくお願いいたします

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました令和5年度キャリア教育の推進について、ご協議をいただきます。

ご質問、ご意見、感想などいただければと思いますが、いかがでしょうか。

北澤職務代理、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 昨年度から総合教育会議でも、かなり色濃く話し合いが持たれて進んできているところで、園から短大までをつなげての体系ができて、なおかつ、今までどちらかと言うと弱かった高等学校等へも庁内の関係部局の皆さんがかかわり、それからの高校の校長先生方との懇談会も位置づけていただいて、組織的には充実したものになってきたと思います。

これもぜひ今後も進めていくべき部分だと思うのですが、こうやって組織だってみんなでバックアップしている。どこをバックアップしているのかと言ったら、主人公は子どもたち。子どもたちの育ちをバックアップしているわけで、そういうふう考えたときに、総合教育会議の繰り返しになるのですが、非常に充実した体験は組まれています。コロナも収束してきて、また職場体験も復活してきた。加えてこのコロナの間に、例えば高陵中だと「キラリ☆ハタラキビト」というような、またはほかの学校だと、地域の企業の皆さんに学校に入ってもらって、自分たちが体験に行くだけではなくて、企業やいろいろな会社の取組とか、地域の特徴とかを学校にいても学ぶ「キャリア・フェスティバル」ような機会がさらに充実した。コロナ前の職場体験が主流のときとは、さらに充実した内容になっている。着々と進んできている。そうやっていろんな体験の機会が充実してきているが、子ども側からすると、結局は体験を体験のままで終わらせない。その体験の中から自分がどんなことを学んだかということ、発達段階のその時々きちっと自分の中に内面化する。学びを自分の中に位置づけ、友達が学んだことを共有し合って、お互いの財産にしながら成長していく。それが高校を卒業するところまで続いていくというのが、この飯田型のキャリア教育の大事な部分だと思うのです。

その学びを串となつてずっと貫いていくのは、一番最初のA3判の紙のところにもありましたが、真ん中に「キャリア・パスポート」と書いてありますね。この部分が率直に申し上げて、まだまだ高等学校での扱いが弱いと思うのです。

実際、去年のキャリア教育推進委員会のところで、高校代表の校長先生のお話をお聞きすると、早い話が高校で扱いに困っていると。要するに中学校までのものを高校へ引き渡すことが決まりごとになっているのですが、中学校によって様式が違う。持ってくる記録

の中身も、雑多なという言い方はよくないですが、授業で使った資料など全部のものを綴じた分厚いものをそのまま持ってくる学校もあれば、ぐっと凝縮したものを持ってくる学校もある。高校とすると、引き渡すとなっているから預かっただけで、今はただ置いてあるという。それを活用できるという状態ではない。去年、委員として見えていた高校の校長先生がおっしゃっていたような状況があって、それ以上突っ込んだことは私どものところでは分からないのですけれど、今後高校と共有してまず改善していくべき点は、そこではないか。

それから義務教育のほうも、いかに体験を子どもの内面に落とすか、そういうことが本当に必要なのだということを、改めて意識してやっていく。コロナ禍を経て、新たな枠組みに入ってきたところで、もっとよいものにしていく一番ポイントは、繰り返しになりますが、最後はいかに子どもに返すか、子どもが自分で自覚するかという「ムトスの学び」に変えていくか、そこがポイントになっていくのではないか。

キャリア・パスポートという言い方をするかしないかは別として、いかに内面化するかというところを、今年度の一番の重要課題にさせていただきたい。要するに外堀はいっぱいできてきた。この充実した組織立ての中で、一番生かされるべきは子どもたち。大人が一生懸命お膳立てしていても、それだけでは子どものところには返らないと思うので、その共有はすごく必要だと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

はい、三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） キャリア教育推進フォーラムでの発表のときに、殿岡保育園の、ここにもありますツマグロヒョウモンの発表を聞かせていただいて、つい昨日、一昨日ですか、発表した保育園の園長会長をされている宮崎先生とお会いしてお話をするようなことがあったりして、やはりこれが体系立ったキャリア教育だよっていうのではなくて、子どもは「これなあに」っていうところからスタートしたっていう、そういうような本当に子どもを中心とした子どもに寄り添った学ばせ方というところ、「すごく感動して良かったです」なんてお話をさせてもらったんです。

こうやって思いますと、うちの短期大学の「ひさかた和紙」の染めのデザインというところで発表させていただきました。これもまたそういったものがあっただけというわけではなくて、「ひさかた和紙」の保存会の方から「何かこれでできないか」っていうふうに声をかけていただいて、それを染色技能を学んでいる学生がいろいろデザインしてみたという報

告をさせていただきました。学生も発表することで「こういう学びだったんだな」っていう、そんなまとめができたなんてこともあります。

体系立ったものではなくて、そのときに学生や子どもたちが興味をもったこと、本当に目を輝かせてワクワクしながらさせてもらった、そういうところに学びがあったと思います。またこういった体系立ったものももちろんとても大切なもので、これだけの組織立ったものは大切だなと思います。またそういった学びというものも子どもたちの学びの中には、保育園や幼稚園の子どもたちから、うちの短大、また大学の学生たちまでであると思うんですが、そういったものをまた拾い出していただきまして、きっとキャリア教育というこういった枠立て中ではないものでも、実はそういったものに当てはまることもあるかなと思います。またそういったものも学びだったよねというような、そんな感じにさせていただけるとありがたいなと感じます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 本当によく分かりやすくまとめてくださって、飯田型キャリア教育ってすごいなというふうに思うわけなんですけれども、ここで一つちょっと私のほうからの提案と言いますかお願いと言いますか、コロナが終わって周りでもお母さん方とお話すると、社会見学に行ける、遠足に行ける、強歩大会ができる、遠出したというようなお話いっぱい聞くようになりました。そういう中で、これまでいかにコロナの中で制約を受けてきたのかなということを改めて感じる事が多くあります。

そんな中、ちょっとこの今の話題とはちょっとはみ出るんですけれども、小学校四年生の男の子のお母さんが大変悩んでいます。どういうことかということ、学校の方にちょっと行きたくなってしまったということで、すごく繊細で一生懸命頑張り屋の男の子なんですけれども、妹もいるということで一生懸命今までやってきたのかなと。それで、本人の中ではどういうことか分からないんだけど、給食が食べれなくなってしまったりとか、だんだんと足が遠のくような出来事があって、今まで一生懸命頑張って楽しく行ってきたんだけど、お母さんはもう非常に悩んでいて「苦しい、どうしよう」と。先生も変わったりしたので、「どうしよう」、「どうやって話したらいいんだろう」と、「先生との連携もまだ分からないし、放っておかれたらどうしよう」、「もう将来どうなるのか不安だ」、「もう本当にもたない」ということで家族で悩んでいます。

私はこれを見ていて、やっぱりちょっとドロップアウトしてしまいそうな子どもたちのことを、ぜひ今の時期、ちょうどその5月というのがそういう子どもたちが出やすい時期

だなというふうに思うので、ぜひ密着してお話をしていただけるように。子どもさんを持つ親御さんは、遠慮せずに先生に相談してほしいし、先生方もぜひ声をかけてあげてほしいなという願いを持っています。

今の話題とはちょっとずれたわけなんですけれども、そういう子がいるっていうのは、私はコロナ禍がちょっと影響してるんじゃないかとやっぱり思いました。思いつき外で遊びたいとか体験をしたいという時期に、できなかったということが本当に影響してるんじゃないかなというふうに思うわけです。それなので、この飯田型キャリア教育、コロナが終わってどんどん先に進めたいと思うところですけども、この失われた3年間というものを、体験できなかった子どもたちに体験を取り戻させてあげたいと思います。なので、その子たちの子ども時代は本当に帰ってこないで、そのときに体験させてあげたかったけどできなかったことを、ぜひ体験させてあげられるような機会としても、そのキャリア教育が役立つといいなというふうに願っております。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

野澤委員さん、お願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 少子化が進む中で、子どもたちっていうのは本来、子どもたちのコミュニティの中でいろんなことを学んで、複雑な人間関係が徐々に友達が多くなればなるほど出てくるんだと思うんですけど、やっぱり子どもが少ないということは、やっぱりそういう複雑さっていうのが単純化されてしまっている部分があるのかなっていうふうに思います。そういうところでの、このキャリア教育の位置づけというのは、そういうのを少しでも援助できる環境をつくってあげられるのかなというふうに考えられるんで、そういったところは非常にやっていかなきゃならないだろうなという感覚を私は持っています。

今の上河内委員のお話じゃないですけど、不登校の一つの要因って、やっぱり子ども同士のコミュニティから何かの拍子に外れたときに、ほかのコミュニティがないんじゃないかなと私は思っています。やっぱりそれは、人が少なくなっているがゆえに4～5人の仲間がいたんだけど、何かのきっかけで何かうまくいかなくなってしまうと行きたくなくなっちゃう。そのときにほかのコミュニティがあれば、そこに逃げられるんだけど、それが無いっていうのが、いま少子化で起きているのかなって、それは全部ではないですけど、そういうことがあるのかなっていうふうにちょっと思っているんで、そういったところに、こういうキャリア教育で外部の人たちの刺激というか、そういったものが加わるっていうのはすごく、その助けになる部分に出てくればいいなというふうに感じています。

なので、よくこの就職がどうのこうのという話があるんですけど、そういうことではなくて、成長していく過程っていうのは、やっぱりすごく人間が複雑になっていくし、社会環境も複雑になっているので、薄っぺらな平たい判断能力ではなくて、いろんな物事を三次元・四次元的なそういう眺める、そういう俯瞰能力を持って、それでいて自分が一番今ベストな判断は何だろうというのができるようになるっていうのが望みかなというふうに思うので、そういう環境づくりを子どものときに、どんどん与えていってあげなきゃいけないんじゃないかなというふうに感じると、やっぱりちょっとかなりクラス的人数が減ったり何かそういったところっていうのは、こういうことをどんどん与えていかないと、そういう環境づくりができないっていうところが、今すごく悩ましいところでもあるし、そこに対して何かできる一つの大きな事業なんだなというふうに思っているんで、うまくそれを今後に進めていっていただければなと思います。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

様々な視点からご意見をいただきましたが、担当のほうで何かありますか。

◎教育支援指導主事（片桐和子） 改めて勉強して子どもたちのために学校へのアクションとかいろいろ考えていきたいと思います。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

体系が整い、また組織もできたということで、これから本当に、それに伴ってますます中身をしっかりと充実させていく、また意味のあるものにしていくっていうことを大事に受け止めて考えていきたいなというふうに思いました。

ありがとうございます。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、日程第8、陳情審議でございますが、今回、陳情審議はございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 日程第9、その他。

(1) 教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） (1) 教育委員報告事項。

報告事項が何かございましたら教育委員さんのほうからお願いいたします。

では三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） 先ほどはりんご並木の 70 周年ということと、あと上野博物館の父ということで田中芳男ということで勉強させて研修させていただきました。本当にありがとうございました。

2021 年の 11 月だったでしょうか、今の秦野次長が公民館の副館長をされてたときに志川節子先生の講演会がありました。先ほど織田学芸員さんのお話にも「博覧男爵」の小説を書かれた方が講演してくださったという話がありましたが、後でお話伺いに来て「博覧男爵」を読ませていただいたなあなんて思ってお話を聞いたりしていました。あのときは、本当にNHKで「青天を衝け」ですか、渋沢栄一が出ていてパリの万博にちょうど行くつていうようなところで田中芳男もパリの万博に行ったつていうそんな事情もあってだったかなってちょっと記憶しています。今度は「らんまん」ということで牧野富太郎という、植物学者の先生のところにもまた田中芳男との、今日拝見した手紙のやり取りの牧野先生の文章を見ると、本当に現実にあった飯田の出身の先生との関係といったところで、ちょっと思いが深まりました。また「博覧男爵」を読ませていただいて、自分のイメージとプラネタリウムで見たこの映像ですとか、そういったものもこう「あ、あれってこんな感じだったのかな」なんて思いをめぐらせるところもあって、本当にいい時間だったと思います。飯田出身のそういった大先輩を身近に感じられました。

あのような時代に、文化というものに本当に力を注いだということは、本当に飯田市民として誇れることだなんていうふうに思います。またこういうことがなければ自分も本当に知らなかったことであったなと思うと、飯田市民として、私からしてみれば周りに学生たちもいるんですけども、そういった人たちにも、こういった自分が思ったこと感じたことを伝えていくつていうことも大切だろうなと思います。

今日は、まず自宅に帰りましたら、家族にこんな話を見てきた聞いてきたつていうそんな話をしたいと思います。勉強になりました。ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございました。

ほか、報告事項ございますか。

北澤職務代理。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 報告事項 2 点ですけど、1 点目は、私たち教育委員もお世話になりましたけれど、5 月連休中にあった「オーケストラと友に音楽祭」の関係です。

5 月 3 日の「そよ風コンサート」、午前中に天龍峽を行かせてもらったのですが、それで私、勢い余って午後のイオンのコンサートにも行かせていただいたり、クリニックの

様子も短時間見せてもらったり、あわせて5月6日の名曲コンサートも鑑賞させてもらって、さらに勢い余って最後、「また会おうかい」にも出席させていただいた。5月3日の日は「そよ風コンサート」の名前のおり、本当に恵まれた天気の中で屋内外どちらの会場も、子供から大人までたくさんの方が鑑賞されていて、いいなと思いました。

また、6日の名曲コンサートも、しばらくぶりに文化会館、満席の会場で行われて、中高生のクリニックの参加者も過去最多の230名が参加したというような話も聞きました。

オケ友になって15回目を迎えるという説明もありましたけれども、さっき芸術文化の推進連携協議会の委員さんの承認もあったところですが、ああいう機会が今後、部活動の地域移行のこととか、それから芸術文化系部活のあり方と言ったようなところのことと、とてもつながってくるのかなと思って見させてもらいました。

今回のオケ友はコロナ禍での、しばらくの分断を感じさせない盛況ぶりで、確かオケ友の長期ビジョンをお聞きしたら「クラシック音楽の花が咲くまち・いいだ」ですか。そんなビジョンで進めているということもお聞きしました。今後もさらに発展させて、つなげていってほしいということを思ったオケ友でした。

それからもう1点。今、教育長と一緒に学校訪問をさせてもらっていて、これまで22校済んで、あと6校残すだけとなっています。そこで感じたこと、次回でも良いのですが、ほぼ大方の学校を回らせてもらったので、特に特徴的だと思った3点を報告します。

1点目は、コロナ禍を経てですけれど、どの学校、どの教室でも、とてもグループワークのような授業形態が増えたなというのが素朴な感想です。コロナのときは、顔を合わせて話をするようなことを遠慮してたと思うのですが、それが、かなり自然な形でグループとかペアとかで進める授業の形が増えたなというふうに思います。それから音楽室での合唱を聞く教室がかなりありました。歌うってことを自粛してたのですが、それもかなり自然にできるようになったのだなど。それからさっきも出てましたけど、特に中学の修学旅行が奈良・京都方面への本来の旅行が全部の学校でできた。廊下に旅行の写真が飾られたりしてましたけど、そういうことも当たり前ができる平常の授業の風景が戻ってきているのだということを思いました。

それから2点目は、しばらく前のときまでICT教育云々で、タブレットの活用をどうするのか、この場でも、良い意味でも悪い意味でもさまざまな話し合いがなされてきましたけれど、極めて自然な状況で各学校が使ってるっていう、そういう風景になってきたなことを改めて感じました。必要なところで使うということが当たり前になってきている。中でも、デジタル黒板は非常によく使われていて、小学校ではほとんどの教室が活用

して授業の場面が提示されていたり、中学も社会とか理科とか英語などでは、ほとんどの教室で使われているという印象です。

さっきも市議会議員さんの学校視察で、しばらく前と授業風景が変わったという感想を教育長報告で聞きましたけど、私たちが行っても、しばらく前と授業風景が変わったなどという印象を強く持っています。

最後、飯田市で示している「学力向上結いプラン」についてです。「結いプラン」による授業づくりは、ほとんどどの教室でもされてるようになってきて、これもとてもいいことだなと思います。昨年来、専門幹や教育長から提案されている、教師サイドからの「結いプラン」ではなくて、それを子どもが取り組む、まさに「ムトスの学び」側へ、要するに子どもが自分で考えて自分から取り組む、子どもの主体性をいかに引き出していくかという、「ムトスの学び」側へいかに転換していくか、もうちょっと進めていくかという辺りが、これからのポイントになるのではないかと思いつながら 22 校を回らせてもらってきました。また、秋に教育委員さん方みんなで学校訪問をさせてもらうので、昨年からの続きをみんなで見たいなと思っています。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

さらにございますか。

上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 5月15日に飯伊市町村教育委員会連絡協議会総会と研修会に出席させていただきました。

研修会では櫻井弘人先生の話聞くことができ、飯田下伊那の様々な風習ですとか、あとはお祭りとか、また花火、大三国というのがこの地域のものだというようなことですか、色々聞きながら、やっぱり豊かな芸能が残る地域なんだなということを改めて感じて、面白いなあと思い、もっと知りたいなと思って、今日もこちらの美術博物館を見せていただきました。その後、懇親会でもお話をしたのが喬木村の役場の方で、ICTの先進地として私たちも勉強させてもらった喬木村ですけれども、やはり今後この更新するという時期になり、そのICTのタブレットなどを更新するのをどうしていこうかということが、非常に悩みであるというふうに言っていました。

今後、また飯田でもそういったことを考えなくてはならない問題になるのかなというふうに感じてまいりました。

簡単ですが、以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

野澤委員さん、よろしいですか。

◇教育委員（野澤稔弘） はい。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

（２）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは、教育次長報告事項。

秦野教育次長、ありますか。

◎教育次長（秦野高彦） 結構です。ありません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（３）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（３）学校教育課関係報告事項。

◎学校教育課長（福澤好晃） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（４）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（４）生涯学習・スポーツ課関係報告事項。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料の42・43ページでお願いいたします。

42 ページは、令和4年度の「おもしろ科学工房」の事業報告ということでまとめさせていただきます。

やはりまだまだ令和4年度、新型コロナウイルスの影響も若干あったかなということでありますが、1番の理科実験ミュージアムは、かざこし子どもの森公園の「おいで館」で定期的に開催しているものでありますが、3年度より若干数は減っております。

（２）には、全員ではありませんが参加した方からアンケートを取った中で、居住地別に明らかなものを少し整理させていただいてあります。飯田下伊那近辺だけではなくて、公園を訪れてやはりそこでそういう活動があるというのを知って参加する方も相当いるという状況となっております。

大きな2番は、出前工房ということで、それぞれの地区の育成会であったり公民館、そういった場所へ出張するものや、学校のほうに訪問するようなものでありますけれども、

こちらは、令和3年度と同様くらいの数値でございます。

また、ご覧いただければと思います。

43 ページは飯田やまびこマーチでございます。2日間、天候にも恵まれて実施をしました。それぞれ2番のところに各コースの最終の参加者数ということで、2日間で延べ1,494人という結果でございます。当初の事前申込みの段階で1,200人くらいでしたので、延べで300人くらいが当日参加をいただいたというような状況でございます。

3番には大会を支えていただいたスタッフということでございますが、学校等への周知のタイミングを少し逃したところもあって、中学生等が令和4年度と比べると少なかった状況がありますので、そういった点をこれから次回大会に向けて取り組んでまいりたいと思います。先週、実行委員会を開催しまして、反省も出しながら次回大会に向けたスケジュールの確認もして、11月くらいにはウォーキングの連盟の大きな大会がありますので、そのときには要項を定めて、「飯田でやります」ということをPRするようなことも、実行委員会のほうでは確認をいただいて準備を進めていただくこととなっております。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、では報告事項、最後のところで質問、ご意見挙げていただきたいと思ひます。

（5）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（5）文化財保護活用課関係報告事項。

宮下文化財保護活用課長。

◎文化財保護活用課長兼考古博物館長（宮下利彦） 当課の事業などにつきまして、情報提供させていただきます。

資料44ページをご覧いただきたいと思ひます。飯田は古墳の博物館と言ってもおかしくない、古墳にとって特別な地域ということが、市民への浸透が、理解が深まっていないところがございまして、今回、多くの市民にそういったことをぜひ知っていただきたいという思ひで、古墳に親しんで学んでいただく古墳探検隊を、来週28日に開催いたします。

現在、定員に近い19人の方の申込みを受けておりまして、秋の部も、ぜひ計画していきたいと考えております。

また、もう1点、過日発生しました座光寺地区高岡第1号古墳の墳丘の上にあります、高岡神社の社の火災につきまして、ご報告させていただきます。

4月30日の日曜日の18時頃になりますますが、社の中に置いてありましたゴザなどが燃えま

して、柱の一部を焦がす火災が発生しました。ぼや程度で鎮火することができまして大きな被害もなく、また、文化財であります古墳にも被害などの影響は出ておりません。ただし、近くに火の気がないということ、当日の午前中は雨が降っていたという状況の中で、原因は今はまだ不明です。なお、本件は、翌日の5月1日に、長野県教育委員会を通じまして文化庁とも情報共有を図っております。

以上になります。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（6）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（6）公民館関係報告事項。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） ございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）文化会館関係報告事項。

下井文化会館館長、お願いします。

◎文化会館館長（下井善彦） それでは資料の45ページの資料No.5をお願いしたいと思います。

「オーケストラと友に音楽祭」の実施報告でございます。

先ほど来、触れていただいておりますけれども、オケ友4年ぶりの通常開催ということでもございました。好評のうちに終わったかなというふうに思っております。

会期は、そこにあるとおり5月の連休中でもございました。概要として（1）で上げてございますけれども、15回に今年は当たったわけですが、名フィルのコンサートを初めて、議場でやったということもございます。これは議会の協力を得てということもございますけれども、大変好評だったというような結果になっております。

それから（2）では②でありますけれども、「楽器とあそぼう」ということで楽器体験でございます。これはコロナで全然そういうことができませんでしたので、今年大きくではありませんけれども、楽器体験ができてよかったかなと思います。

それから（3）では、最終日にこれはなりますけれども、「名曲コンサート」でもございました。久しぶりに1000人を超えるお客様ということで、オペレーショナル的にも久しぶりに多くのお客様を迎えたということで、なかなか大変でしたけれども、皆さんに音楽を楽しんでいただけたかと思っております。

(4)「そよ風コンサート」ですが、これも先ほど触れていただきました。視察でもご覧いただいておりますけれども、特に5月3日の天龍峡パーキング、これも今年、初めての取組ということで新しい場所を設けて取り組んだということでございます。

次のページにまいります。ホールコンサート、それから「にこにこステージ」、それから(6)コミュニティーコンサート、こちらから出かけて行って各地域でコンサートを開くということですが、今年は平谷村、それから県で行いました。平谷村では楽器体験というのもございましたので、こちらも非常に好評でした。

それから最後になります「音楽クリニック」、こちらは地元の方が名フィルのプロの講師から直接教わることができる貴重な体験というふうに思っておりますけれども、3月2日からスタートして5月3日まで、先ほど触れていただいたとおり過去最高の230名の方に参加をいただいております。5月4日には、その成果発表ということでコンサートを行ったということでございます。

オケ友は、以上でございます。

それから催し物のご案内ということで、緑色のチラシとちょっと小さめの「Dogushi」というものをお配りいたしました。直前のご案内になってしまいましたけれども、今週末であります。フレッシュコンサートがございます。それから小さいほうの「Dogushi」ですが、人形劇の情報が載っておりますので、またご覧いただきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(8) 図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして(8)図書館関係報告事項。

矢澤中央図書館長補佐、お願いします。

◎中央図書館長補佐（矢澤 恵） お願いいたします。

飯田市立図書館の「よむとす事業」について報告及び今後の予定についてでございます。47ページ、資料No.6をご覧ください。

1の報告及び2の予定の(1)については、資料をご覧ください。と思っております。

予定の(2)、ムトスぷらざの3階にあります飯田駅前図書館におきまして、中学生・高校生を対象に「自分の本棚を作ろう」という企画を行う予定でおります。

来週から始まりまして、何日か設定しているところに中学生・高校生、自分の好きなときに来ていただいて、棚を一枠ずつ、自分の棚としてプロデュースして本の紹介をしたり、

好きな本を集める、自分のカラーを出した棚をつくっていただくということを予定しております。見に来てくれた方も、そこから借りていただける。また、高校生と中学生に補充していただく、そんな書棚をつくっていきたいと思います。

今後、6月までの1カ月程度はそのままつくっておきますので、ぜひお越しになってご覧いただければと思います。

(3)です。先ほど生涯学習・スポーツ課のほうから資料No.2で報告がありました南信州飯田おもしろ科学工房とのコラボ企画、これは10数年続いている企画になります。おもしろ科学工房に図書館に来ていただく出前講座と、「かざこし子どもの森公園」に図書館が行きまして一緒に行く講座と2つ計画しております。

科学実験をしていただいただけで終わるのではなくて、本の紹介を行い借りていただくことで、さらに興味を深めていただく、「理科読(りかどく)」という言い方もあるんですが、そんなことを目的として行っております。図書館に来ていただくだけではなく、本をたくさん持って行って、子どもの森公園でもその場で利用登録をしたり、貸出しをしたり、そんなこともできる企画となっております。

中央・鼎・上郷図書館でも科学月間としまして、本の紹介を行ったり、お話をしたりする予定でございます。

以上です。

○教育長(熊谷邦千加) はい。

(9) 美術博物館関係報告事項

○教育長(熊谷邦千加) 続きまして(9)美術博物館関係報告事項。

牧内美術博物館副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長(牧内 功) お手元に配りしました6月の「びはくにゅーす」をまたご覧いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

裏面に休館のお知らせがございますが、今年度は展示室の燻蒸を行いますので6月5日から6月16日、展示替えも含めてでございますが、長期の臨時休館を行いますので、ご承知いただければと思います。

あとお手元に今年度のコレクション展示のご案内と招待券をお配りさせていただきました。今年度は10月の県展以降は工事のため休館となりますが、ご観覧をいただければと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） (10) 歴史研究所関係報告事項。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいまの報告事項につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

(11) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは(11)今後の日程について。

櫻井学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（櫻井英人） はい、資料の3ページをご覧ください。

今後の日程につきまして、6月14日金曜日でございますが、次回6月の定例会を行います。また翌日の15日は第1回小中連携・一貫教育推進委員会ということで、連日になりますけれども、全員の出席をお願いいたします。6月20日は第2回飯田市校長会がございます。教育長と職務代理の出席をお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、本日予定された議案等は、これで全てとなりますけれども、何かご発言等ございますか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

日程第10 閉会

○教育長（熊谷邦千加） 日程第10、閉会。以上をもちまして、5月定例会を終了といたします。ありがとうございました。

閉会 午後4時27分